

第86期決算公告

株式会社マスタック

貸借対照表

(2024年3月31日現在)

(単位：千円)

| 資 産 の 部 | | 負 債 の 部 | |
|-----------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
| 流動資産 | 11,195,108 | 流動負債 | 6,519,670 |
| 現金及び預金 | 7,436,555 | 支払手形 | 26,610 |
| 受取手形 | 22,495 | 電子債務 | 2,097,406 |
| 電子債権 | 20,612 | 買掛金 | 756,511 |
| 売掛金 | 2,303,636 | 短期借入金 | 900,000 |
| 製品 | 56,244 | 1年以内返済予定の長期借入金 | 374,785 |
| 材料 | 282,819 | 1年以内償還予定の社債 | 250,000 |
| 仕掛品 | 906,335 | 未払金 | 36,124 |
| 貯蔵品 | 37,042 | 未払費用 | 175,696 |
| 前払費用 | 50,389 | 未払消費税等 | 147,070 |
| 未収金 | 68,877 | リース債務 | 26,978 |
| 未収還付法人税等 | 10,392 | 前受金 | 1,368,093 |
| 短期貸付金 | 274,510 | 預り金 | 67,974 |
| その他 | 5,586 | 賞与引当金 | 174,428 |
| 貸倒引当金 | △ 280,384 | 製品保証引当金 | 106,956 |
| | | その他 | 11,039 |
| 固定資産 | 5,484,890 | 固定負債 | 4,712,149 |
| 有形固定資産 | 3,700,341 | 社債 | 1,640,000 |
| 建物 | 2,382,028 | 長期借入金 | 2,361,453 |
| 構築物 | 33,370 | 退職給付引当金 | 396,299 |
| 機械装置 | 254,543 | 役員退職引当金 | 291,000 |
| 什器備品 | 52,470 | リース債務 | 23,397 |
| リース資産 | 45,795 | 負債合計 | 11,231,819 |
| 土地 | 932,135 | 株主資本 | |
| 無形固定資産 | 144,309 | 資本金 | 100,000 |
| ソフトウェア | 141,779 | 資本剰余金 | 5,202,295 |
| その他 | 2,530 | 資本準備金 | 200,000 |
| 投資その他の資産 | 1,640,240 | その他資本剰余金 | 5,002,295 |
| 投資有価証券 | 374,869 | 利益剰余金 | 2,148,063 |
| 関係会社株式 | 74,202 | 利益準備金 | 69,196 |
| 長期前払費用 | 32,462 | その他利益剰余金 | 2,078,867 |
| 保証金 | 170,659 | 固定資産圧縮積立金 | 7,486 |
| 保険積立金 | 572,003 | 別途積立金 | 200,000 |
| 繰延税金資産 | 408,491 | 繰越利益剰余金 | 1,871,381 |
| その他 | 8,354 | 自己株式 | △ 2,214,439 |
| 貸倒引当金 | △ 800 | 株主資本合計 | 5,235,919 |
| | | 評価・換算差額等 | |
| | | その他有価証券評価差額金 | 212,260 |
| | | 評価・換算差額等合計 | 212,260 |
| 資産合計 | 16,679,998 | 純資産合計 | 5,448,179 |
| | | 負債及び純資産合計 | 16,679,998 |

(注1) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(注2) 当期純利益 575,430 千円

個別注記表

1. 重要な会計方針に係わる事項

(1) 有価証券の評価基準および評価方法

- ① 子会社株式・・・移動平均法による原価法
- ② その他有価証券

時価のあるもの・・・期末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

時価のないもの・・・移動平均法による原価法

(2) たな卸資産の評価基準および評価方法

- ① 製品・仕掛品・・・個別法による原価法
- ② 材料・・・移動平均法による原価法

(3) 固定資産の減価償却の方法

- ① 有形固定資産（リース資産を除く）・・・定額法
- ② 無形固定資産（リース資産を除く）・・・自社利用のソフトウェアについては、社内における見込み利用可能期間（5年）による定額法
- ③ リース資産
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法を採用しております。

(4) 引当金の計上基準

- ① 貸倒引当金・・・債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
- ② 賞与引当金・・・従業員に支給する賞与に充てるため、将来の支給見込額のうち当期の負担額を計上しております。
- ③ 製品保証引当金・・・販売後の無償修理費用、試運転費用等について、過去の実績率を勘案し発生見込み額を計上しております。
- ④ 退職給付引当金・・・従業員の退職給付に備えるため、当期末における簡便法により計算した退職給付債務および年金資産の見込みに基づき、当期末において発生していると認められる額を計上しております。
- ⑤ 役員退職引当金・・・役員の退職金の支払いに備えて、役員退職金規程に基づく期末要支給額を計上しております。

(5) その他の重要な事項

- ① 外貨建の資産および負債の本邦通貨への換算基準
外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は営業外損益として処理しております。
- ② 消費税等の会計処理
消費税および地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。